

2023年度 安全目標/実施管理表(2023年4月1日~2024年3月31日) 結城運輸倉庫(株) 運輸事業部全営業所

目標		計画						コメント
達成基準	評価	実施項目	実施者	対象	実施回数、実施時期	達成基準	評価	
1	・コンタミ事故0件	◆荷卸しパトロール、モニタリング、チェック						
		①荷卸しパトロール	支店安全担当、所長、他	全乗務員	適宜実施	荷卸し確認書活用。配管残油絞り徹底。作業手順飛ばし無し	▲	実施率85%
		②ハイクログモニタリング	所長、他	全乗務員	上期中2回	配管残油絞り徹底。ハイクログと荷卸し確認書が整合している。チェックしたログ記録を安全管理部へ報告している、COMへも報告している	▲	実施率93%
		③荷卸し確認書モニタリング	所長、運行管理者	全乗務員	毎日	荷卸し確認書活用徹底。新荷卸し確認書の運用を理解している	▲	内部監査で記入漏れやミスを確認。指導
		◆教育訓練						
		①荷卸し訓練	支店安全担当、所長、他	全乗務員	上期中1回	ローリー作業基準に則った荷卸しを実施している	▲	一部で未実施
		②道徳教育	所長	全乗務員	年3回(6月、10月、2月)	コンタミに限らず隠蔽で拡大する被害や、想定される結果を、自覚させる教育を実施する	▲	教育は企画したが結果が伴わず
		③ハイク教育	支店安全担当、所長、他	白油ローリー乗務員	年1回	ハイクに対する知識を高め、正しい操作、あるいは対応が出来る	●	8月・12月に事故事例とヒヤリハットから正しい使用方法を周知
		◆車両、配送先、設備機器適正維持						
		①底弁、各種仕切弁	所長、整備管理者、他	白油ローリー	年1回(4月)		●	全営業所提出
		②隔壁、配管	所長、整備管理者、他	白油ローリー	年1回(4月)	全車両点検し健全性を維持している(点検要領による)	●	該当車両提出
		③ロックピン(ロック板)	所長、整備管理者、他	セミハイクローリー	年2回(4月、10月)		●	該当車両提出
④SS荷卸し立会いキャンペーン	安全管理部、所長、他	全乗務員	荷主のキャンペーンに参加	荷卸し立会いキャンペーンの参加	●	COM・CESの荷卸し立会いキャンペーン参加		
2	・追突事故0件 ・交差点事故0件	◆モニタリング、チェック						
		①コンプライアンス	所長、運行管理者、他	全乗務員	毎日	アルコールチェック違反ゼロ、急加速・急減速、速度超過、件数ゼロ	×	アルコールチェック時違反あり
		②ドラレコモニタリング	所長、運行管理者、他	全乗務員	年1回	全乗務員安全運行を励行している(点検要領による)	●	全員実施済
		◆乗務員管理						
		①国土交通省告示第1366号に準拠した教育	所長、運行管理者、他	全乗務員	月1回(安全衛生会議時)	安全運行に必要な知識を持つ(新入社員は教育課程による)	●	安全衛生会議時に計画通り実施
		②車両移動訓練	所長、運行管理者、他	全乗務員	年1回	大型車の死角等注意点を理解する。個々の技術や特性を確認する トレーラーでのコーンの有効利用方法を事故事例から展開	▲	一部で未実施
◆車両、設備機器適正維持								
①車両日常点検	乗務員、整備管理者	全車両	毎日	全車両日常点検を実施し健全性を維持している(点検要領による)	●	内部監査で確認(最新版で無いことがコスモ現地監査で発覚)		
②ローリーホースボックス、ツールボックス点検	所長、整備管理者	全ローリー車	年1回(消防点検時)	全車両点検し健全性を維持している(点検要領による)	●	3か月点検項目		
3	・ポンプ荷卸しによる漏洩事故0件 (ポンプ荷卸しでの漏洩事故は0件達成) ・施設内破損事故前年比半減 (前年度15件から10件と半減は出来なかった)	◆コミュニケーション強化						
		①点呼	運行管理者、補助者	全乗務員	毎日	健康起因事故防止、適性診断をもとにした指導、配送先情報(3Hのリスク)を確認	●	
		②グループミーティング	グループ長	グループメンバー	毎月	正しいコミュニケーション状態維持、協働の意識醸成、情報共有	▲	ミーティング内容にばらつきが出てきている
		③運行管理者研修	社長	運行管理者、補助者	年2回	点呼執行者のスキル向上を図り、運行管理面から事故根絶を図る(点呼者全員参加)	●	
		◆乗務員管理						
		①安全衛生会議	安全管理部、所長、他	全乗務員	毎月	安全教育、事故事例共有、情報共有を通じて、一体となって安全活動を推進する	▲	藤枝営業所で実施できていなかった
		②ドライバー実地教育	安全管理部、他	全乗務員	年2回	乗務員の力量不足・知識不足による事故を撲滅する。トレーラーの死角教育	▲	事故傾向から単車軌跡(内輪差)教育に変更
		③配送先、配送経路危険情報共有	所長、運行管理者、他	所長、運行管理者、乗務員	毎日	配送先、運行経路の情報を収集、更新、配送指示書と台帳へ展開(事故トラブル未然活動)	●	ヒヤリハット⇒配送指示書への展開を確認
		④後退時ルールの徹底	所長、運行管理者、他	全乗務員	毎日	後退時の接触事故ゼロ(構内にて停車可能な場合、下車して安全確認を行い、カラーコーンを設置して安全措置を行った上で着車することを徹底する)	×	後退時の事故が2023年度で6件発生(5月1件、6月1件、7月1件、11月2件、1月1件)
		◆異常事象対応訓練						
①初動対応訓練	安全管理部	営業所員	年2回(7月、1月)	管理者不在時、運行管理者あるいは事務所スタッフが正しい手順で事故対応出来る	▲	計画通りに2度実施できていない		
②BCP訓練	BCPプロジェクトチーム	本部含む全拠点	年1回(11月)	実戦に即した災害対策訓練を実施する(実施要領による)	●	荷主主導のBCP訓練に参加した(10/23、11/6)		
③異常事象発生時の対応	所長、運行管理者、他	本部含む全拠点	発生時、月1回	異常事象発生時の対応が適切であった 安全衛生会議の中で、毎回周知している	×	安全衛生会議時に周知していたが報告無し事例発生(不正とパニック)		
④支店別管理者勉強会	安全管理部・支店安全担当	所長	年1回	営業所長のスキル向上を図り、指示ミスでの事故根絶を図る	×	実施できていない(実地教育に入れる)		
◆本日安全重点日の事故トラブルゼロ								
①乗務前点呼立会い	所長	所長、点呼執行者、乗務員		乗務前点呼にて、乗務員へ安全メッセージを伝達、安全意識高揚を図る	●			
②始業点呼実施チェック	所長	点呼執行者	毎月(第1水曜日)	正しい点呼を実施している(実施要領による)	●			
③乗務員と関わる(添乗、訓練、パトロール)	所長、支店安全担当、他	全乗務員		教育訓練を通じて乗務員に関わる(各項目実施要領による)	●			

評価基準：○=達成 △=一部達成 ×=未達成

●:実施 ▲:不十分 ×:未実施